

宇波交流センターだより

令和4年7月20日発行(編集・発行)宇波交流センター
 〒692-0622 安来市広瀬町宇波482-2Tel(兼fax):0854-36-0852
 Mail:unami.cs@city.yasugi.shimane.jp

ささえ愛まめに楽しく集う星うねり



6月末宇波地区人口統計 (安来市人口統計より)	人口	戸数	10歳代以下	20~30歳代	40~50歳代	60~70歳代	80歳代以上
	200名	92戸	11名	23名	40名	78名	48名

高齢化率 54.5%

環境整備(7/3)

毎年7月に地域の皆様大変お世話になっている環境整備を今年は7/3に行いました。朝から雨模様で湿度が高く、作業がしにくい天候となりました。そんな中、たくさんの方に参加頂き、交流センター回り、塩滝周辺、丸山山付近の道路沿いなどきれいにさせていただきました。

また、観光協会宇波支部の方に塩滝に下りる歩道の整備もしていただき、小さな子供達でも塩滝まで安全に下りれるようになりました。6月下旬には、永島均様に交流センター前のつつじの剪定をして頂きました。ご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。



塩滝歩道



早速遊びに来ておられた方がいました。

寄贈していただきました

安来市の家島様から、宇波の鋳物を寄贈して頂きました。「梵鐘龍頭(ほんしょうりゅうず)」と「鉄滓(かねくそ)」で、梵鐘龍頭は、釣鐘をつるす部分だそうです。貴重な作品をありがとうございました。

交流センター2階の小会議室に展示させて頂きました。どうぞご覧下さい。



ありがとうございます
 ございました



～安来市いきいき健康課より～ 宇波地区がん検診のお知らせ

★集団がん(肺・胃・大腸)検診についてお知らせ

8/31(水) 9:45~11:00 安来市健康福祉センター

【事前予約】8/17(火)~8/26(木) 安来市健康福祉センター

【大腸がん容器配布日・配布場所】8/17(火)~8/26(木) 安来市健康福祉センター

★今年度のがん検診のポイント

- ・大腸がん採便容器は事前配布します。検診日の時間内に提出してください。
- ・65歳以上の方の肺がん検診は、「肺がん・結核検診」となり、無料です。
- ・「健診のしおり」を市報6月号にあわせて配布していますので、特定健診・がん検診の詳細について、ぜひご確認ください!



問い合わせ：安来市いきいき健康課 ☎0854-23-3220

ドクター中西 元気クリニック

Dr.中西敏雄 広瀬町布部758

在宅医療、内科、循環器内科
 小児科、泌尿器科

診察時間 午前8時~12時 午後4時~6時

Tel: 36-0009

8月の開院日

- 12日(金)午後
- 13日(土)午前、午後
- 14日(日)午前、午後
(12時半-16時はワクチン)
- 15日(月)午前
- 25日(金)午後
- 26日(土)午前、午後
- 27日(日)午前、午後
(12時半-16時はワクチン)
- 28日(月)午前

コロナワクチン

ワクチン接種は8月14日、27日です。12時半から、診療所で行います。3、4回目回目の接種券が届いた方は診療所に電話して予約して下さい。1回目、2回目の方も打てます。小児の接種もしています。電話は夕方6時-7時に 0854-36-0009まで。(電話が出ないときは、36-0066山本武士さんまで)

コロナかな?

心配な方は、診察日に電話してください。検査が可能です。まだまだ感染対策が必要です。

熱中症

暑くなり、熱中症が心配です。水分補給を十分に。クーラーかけずに、家を閉めきらないで。



☆イベント時などで撮影した写真は交流センターだよりやホームページなどで使用させていただきます。支障がある方はお申し出下さい。

文化

かつて、たたら製鉄が盛んであった出雲地域。鉄の原料である砂鉄が採取された跡地の多くは棚田に生まれ変わり、今も季節は変わらぬ初夏の水田風景が広がっています。たたら製鉄で生産された鉄は、一部が各地の鋳物の元にもなりました。出雲地域では、宇波(安来市広瀬町)の鋳物師一人、賀藤善兵衛(安来市広瀬町)の鋳物師の一人、賀藤善兵衛が室町時代から活動を始めたと伝えられています。その初期の作品の一つ

いま 島根の歴史

◆225◇

【目次 謙一】

二宮氏は以前から鉄生産との関わりがありました。長正の祖父二宮経実(1537)は、戦国時代の天文6(1537)年、安芸国山県郡重宗(広島県北広島町)の「たたら製鉄」を支配してあり、仕え

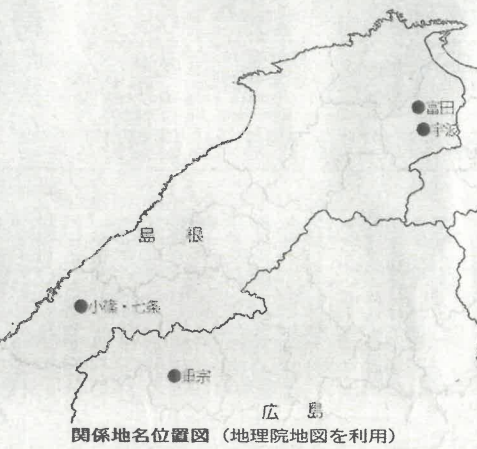
鋳物師との関係を示す銘文

出雲国富田(安来市広瀬町)の城主吉川広家の家臣二宮長正が鋳物師一人、賀藤善兵衛が制作したこの燈籠を、たたら山からの収益である鉄採取が行われており、小波鋳物師・賀藤善兵衛と親戚関係を示す銘文が刻まれている。この銘文は、製鉄遺跡・七条一帯には、製鉄遺跡が分布している。長正もまた、自身の領地である吉川広家が富田城に移る前に長正が治めていた可能性が考えられます。この観点で、燈籠の銘文を再考してみます。二宮長正は、祖父の代に鋳物師の職を継いだと推測されます。その結果、この燈籠が制作されたと考えられます。二宮長正は、祖父の代に鋳物師の職を継いだと推測されます。その結果、この燈籠が制作されたと考えられます。

鉄製釣燈籠奉納



【燈籠】 厳倉寺鉄製釣燈籠



関係地名位置図(地理院地図を利用)